



CITIZEN'S PLAZA

# 市民のひろば

市民の皆さんからの投稿作品をご紹介します！

みんな注目！

【投稿者】

風の学校・はやぶさ

☎ 090-2131-4352  
(鈴木裕)

## 風の学校・はやぶさを設立しました！

「ドーンドーン!」、5月の大空に号砲が鳴り響く。「子どもだと思って侮るな!」と、法被姿のおじさんたちに発破を掛ける田原凧保存会藤城会長。笑顔のおじさんたちの横に、中学1年生・小学校6年生の子どもたち14名が、びっくり顔で整列しています。

第58回田原凧まつり、けんか凧合戦の開会式。今年2月、伝統の田原凧合戦に、子どもたちが赤青に分かれ参加すると表明、いよいよその合戦の日がやって来ました。

5年前「伝統の田原凧を教えてください」と、田原中部小学校4年生担任の藤原先生から声が掛かり、田原凧授業が始まりました。その後「おじさん、日曜日にも凧揚げ教えてください」と、当時4年生の柴田湊李くんの一言から、本格的な田原凧練習が始まりました。

日曜日練習も2年経ち、子どもたちも来年は中学生、中学校には凧の組織はありません。仲間と相談し、田原凧の学校を作ろうと動き出し、昨年12月、「風の学校・はやぶさ」を設立し、今年4月、開校式を行いました。

合戦開始の合図が上がりました。赤はやぶさの1番手は林大和くん。「行きます!」の掛け声と共に、一気に上空から青陣営の凧に襲い掛かり、大和くんの素早い動きに逃げ遅れた青凧3枚と、巴戦になりました。

「青切れたぞ!」「お見事!赤はやぶさ初参戦3枚切り。30点獲得!おめでとう!」と名物審判長・山下政良市長の声が弾みます。その後も、立岩千田くんや岸上裕弥くんの活躍もあり、合計90点獲得、堂々の3位でした。大人もびっくりの見事な初陣でした。

※詳細は、「渥美半島の風・第4号」に掲載しましたので、ご覧ください。

風の学校・はやぶさのスローガンは「大空の文化を楽しく次世代に!」です。江戸時代から伝わる大空の伝統文化を絶やさないよう、田原凧保存会の皆さんと一緒に頑張ります。応援よろしくお願ひします。凧の学校では、新規入校希望者を募集しています。興味がある方は一度お電話ください。



▲凧揚げの練習に励む子どもたち



▲3位入賞を果たし、記念写真を撮りました



▲「渥美半島の風・第4号」